

「映画感想文コンクール2016」関連本のご案内

実例作文
多数収録!

▶実例作文紹介ページ

映画感想文実例 ● ミュージカル

09 実例作文
映画「ANNIE/アニー」の感想文

「アニーを見て」

お母さんが映画に連れて行ってくださいました。いままで、「アナと雪の女王」などディズニーのアニメは見たことはありますが、ぜんぶ日本語で、字まくの映画ははじめてでした。英語は分からないし、字まくが読めるかなととてもドキドキしました。

でも、映画館を出て、「トゥモロー、トゥモロー」と歌っているわたくしがいます。お母さんに「アニーって、すごいよね。子どもなのに英語がしゃべられるんだ」と言ったら、「あなた、おもしろい子ね」と笑われてしまいました。そうか、アニーはアメリカの子だから、英語は話せるんですね。

映画はお父さん、お母さんがいないアニーがお金もちの男の人と出会って、幸せになるミュージカルです。アニーはわたしと同じ十さいだけど、頭がよくて、歌が上手で、こんなお友だちがいたら、楽しいだろうなと思いました。

ポイント
映画のストーリーを簡単にまとめます。年齢に合った言葉を使い、アニーと作者の共通点を見ます。

書き出し
状況を具体的に説明しています。ほかの映画の題名を出さず、初めての言葉、映画であることも分かります。

ポイント
映画を見た後は、見る前に抱いた不安な気持ちが「変化した」こと、お母さんとの会話も微笑ましくしています。

世界中大ヒットしたミュージカルを現代のニューヨークを舞台に映画化。どんな時でも前向きなアニーが市井雑沓の音楽家と出会い、次第に絆を深めていく。アニー役は「ハッシュ・バビアー」の「バスター・フィールドの少女」のクラベンジャー・ウォレス。

映画について

088

尾木ママも推せん!

(尾木直樹氏)

自分を見つめ、他者への共感力を育む映画感想文。コミュニケーションを深める手段としてもオススメ! 多くの子どもたち、保護者、教員に広がってほしい取り組みです。

映画感想文実例 ● ミュージカル

ANNIE (2014年) アニエーの物語。自分も音楽が好き。アニーの物語。アニーの物語。アニーの物語。

習っていないので、英語は少ししか知りませんが、「トゥモロー」という言葉は知っていました。わたしの大好きなディズニーランドに「トゥモローランド」というところがあるからです。「トゥモロー」は明日。「ランド」は土地とか陸という意味だと、お母さんが教えてくれました。

トゥモローランドは明日の土地。左からあんなに楽しいのです。それを、お父さんに教えてあげたら、喜んでくれました。そして「今度はお父さんがディズニーランドに連れて行ってあげるよ」と約束してくれました。

これもアニーのおかげです。

映画を見ると、発見やうれしいことがありますが、英語がわからなかったら、映画がもった面白いのだろうと思います。だから、わたしは早く英語を勉強したいです。アニーのように英語がしゃべられるようになりたいです。そうしたら、アニーみたいな子とお友だちになれるかな。

ポイント
今までの生活と比べて、アニーの生活がどう変わったか、お母さんとの会話も微笑ましくしています。

ひびき
筆者は、主人公アニーと同じく、初めての夢の映画館を見ることができて、見終わった後の興奮がまだ止まらないうちに、お母さんとお父さんと一緒にディズニーランドへ行ってみたいと思います。英語を学ぶことも、前向きな気持ちです。

091

小学生のための映画感想文のすすめ

好評発売中

定価: 1200円(税別) / 判型: A5判並製 / 発売: キネマ旬報社

- ◆ 尾木ママに聞く「映画感想文」のすすめ
- ◆ 映画感想文の書き方
- ◆ 映画感想文実例紹介

映画感想文のすすめ
尾木ママも推せん!

「自分を見つめ、他者への共感力を育む映画感想文。コミュニケーションを深める手段としてもオススメ! 多くの子どもたち、保護者、教員に広がってほしい取り組みです。」